

あなたと 青山学院



地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

30万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

October 2012 No.10

今号の聖句

聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。主の栄光は、地をすべて覆う。
Holy, holy, holy is the LORD of hosts; the whole earth is full of his glory.

イザヤ書 第6章3節

本多庸一先生 召天100周年記念式典

青山学院の日本人初の院長（第2代：1890～1907年在任）として青山学院の発展の基礎を固め、また明治期キリスト教界の中心人物としてキリスト教宣教に邁進された本多庸一先生が天に召されてから今年で100年を迎えました。本学院では本多先生の召天100周年を記念し、5月19日（土）、「本多庸一先生召天100周年記念式典」を挙行了しました。

式典に先立ち、日本基督教団本多記念教会と学校法人青山学院の共催により、本多記念教会の梅津裕美牧師司式のもと、多磨霊園において墓前礼拝が行われました。ご遺族や本多記念教会員の方々、学院執行部、嶋田順好学院宗教部長らが出席し、梅津牧師による説教の後、出席者によって献花が行われました。

墓前礼拝終了後は、場所を青山キャンパスに移し、大学17号館本多記念国際会議場において嶋田学院宗教部長司式のもと「本多庸一先生召天100周年記念礼拝」が挙行されました。「讃美歌21」552番が一同によって賛美され、聖書朗読（エレミヤ書 第1章1～12節）、祈禱の後、深町正信学院名誉院長により「神に選ばれし器」と題された説教が行われました。続いて深町名誉院長の祈禱の後、嶋田学院宗教部長の祝福をもって礼拝は滞りなく終了しました。

30分ほどの休憩を挟んだ後、本多記念国際会議場ロビーで本多先生の胸像除幕式が行われ、安藤孝四郎理事長によるあいさつの後、安藤理事長、山北宣久院長、

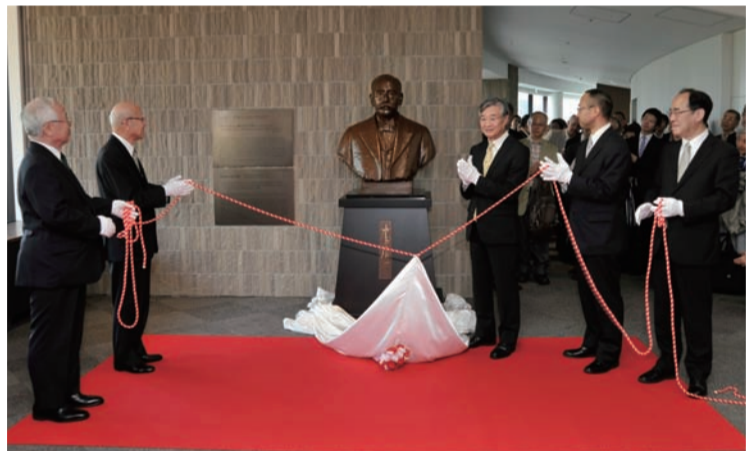
青山学院理事・阿佐ヶ谷教会牧師大村栄氏、来賓の弘前大学学長吉岡利忠氏、日本基督教団弘前教会牧師村岡博史氏によって幕が除かれました。

再び本多記念国際会議場に場所を戻し、本多先生の言葉である「希くは神の恵により我輩の学校より所謂Manを出さしめよ」をテーマにした記念シンポジウムが開催されました。山北院長によるあいさつの後、氣賀健生大学名誉教授による基調講演「本多庸一の信仰と生涯」があり、その後、嶋田学院宗教部長をコーディネーターとし、深町名誉院長、氣賀大学名誉教授、酒井豊大学教育人間科学部長、梅津牧師の各パネリストが本多先生について語り、シンポジウムは終了しました。

シンポジウムの後は、アイビーホールにおいて記念感謝会が開催され、安藤理事長から「本多先生の召天100周年記念の日、早朝の墓前礼拝から始まり、記念式典、シンポジウム、そしてこの感謝会と、本日はまさにまる一日、本多Dayでございます。どうか本多先生のご遺徳をしのびながら、いろいろなお話を皆さまとともにしていただきたいと思います」とあいさつがありました。続いて来賓の弘前学院理事阿保邦弘氏、更新伝道会副会長（渋谷教会牧師）藤村和義氏のあいさつがあり、デビッド・W・リーディ学院宣教師による食前祈禱の後、なごやかな歓談のときをもちました。



記念礼拝



胸像除幕式

今こそ思う本多庸一先生の偉業 — 校友会創立120周年を迎えるにあたって —

本多庸一先生は、その生涯において、キリスト教界の指導者として活躍された一方、青山学院第2代院長（明治23年から明治40年）といった教育者としても大きな功績を残されました。当時いまだ女性が社会的地位を得ていない時代の中で、女性に高等教育を受ける必要性を強く感じていました。ドーラ・E・スカーンメーカー、ジュリアス・ソーパー、ロバート・S・マクレイの3名の、創学の祖の教育理念に共感され、女性が高等教育を受ける機会を望まれていたのです。また、天皇制国家主義体制の強化でキリスト教主義の学校が抑制されたときには、青山学院院長として敢然と立ち上がり、押し寄せる圧政の前に防波堤となられたのです。

当時の青山学院のすべての卒業生を組織して校友会が設立されたのは1893年であり、

来年は校友会創立120周年を迎えようとしています。当時の学院内の設置学校のすべての卒業生が交流を深めることは、母校の発展に寄与することになるとされました。そして、この基本理念は120年を経ようとしている今の校友会の基本理念に脈々と受け継がれています。10月11日（木）、「本多庸一先生召天100周年記念事業」として行われた大学主催「パッサ・コレギウム・ジャパン レクチャーコンサート」を、校友会は本多先生への畏敬と感謝の思いを込めて協賛させていただきました。一人でも多くの校友がこのイベントに参加され、学院内に展示されている本多先生史跡巡りの日としていただきたいと思いますのでした。

青山学院校友会 会長 細田 治

CONTENTS

学校法人 本多庸一先生 召天100周年記念式典	1	校友会 駅伝応援マップ	8
学校法人 キャンパス最前線・今号の聖句	2	校友会 アイビーグループニュース	10
学校法人 青学ニュース	3	校友会 部会・同窓会ニュース	12
学校法人 Useful Information	4	学校法人 青学探訪「模型に遺る3つの校舎 その②ーガウチャーホールー」	14
校友会 あのころ・そして・いま/ゼネラルマネージャー・プロデューサー 濱田 知佐さん	5	学校法人 青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会 支部ニュース	6	校友会 校友会本部	16
校友会 校友会ニュース	7		